広報

新たな飛躍を誓う

高津川森林

第43号

令和5年8月1日発行

高津川森林組合プロフェッショナル結集

発　行

高津川森林組合

〒699-5132　益田市横田町454-1
TEL (0856) 25-2667
FAX (0856) 25-2967
URL　http://www.takatugawa-forest.jp
E-mail　info@takatugawa-forest.jp

新役員体制決定

この度、任期満了に伴う役員改選が行われ、５月３０日の第２５回通常総代会において新役員が選任されました。これを受けて同日に新役員会が開催され、新しい役員体制が決定いたしました。

代表理事組合長　村上恵佑（柿木）
総務委員長　杉原寛臣（益田）
総務委員　米原孝男（津和野）
総務委員　寺戸倉雄（匹見）
総務委員　矢冨幸信（六日市）
総務委員　武内　白（益田）
業務委員長　村上和成（津和野）
業務委員　森下　保（六日市）
業務委員　斎藤哲也（匹見）
業務委員　大谷昭次（美都）
業務委員　村上栄二（日原）
代表監事　長嶺近人（日原）
監　事　岡　房夫（益田）
監　事　齋藤宗男（美都）《新任》

尚、今回の改選により一名の役員の方が退任されました。

代表監事　野村達也（美都）

長い間お世話になりました。
これからのご健勝とご多幸をお祈りいたします。
ありがとうございました。

役員就任挨拶

代表理事組合長　村上　恵佑

平素より森林組合運営に対しまして、組合員の皆様を始め関係各位の格別なご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の役員改選に当たり、引き続き代表理事組合長の大役を仰せつかりました。

長引くウクライナ情勢による諸物価の高騰は、国民生活は基より組合の運営にも大きな影響を及ぼしております。

この波を乗り切るため、役職員一丸となり事業に邁進してまいりますので、今後とも皆様方には従前に倍するご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度（第25回）通常総代会開催

5月30日、益田市有明町のグラントワ スタジオ・1を会場に来賓の方々を多数お迎えし開催いたしました。

総代総数 200名
本人出席 84名
委任出席 なし
書面出席 89名

全議案原案どおり可決されました。

『令和５年度通常総代会議案』

第１号議案	令和４年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案について
第２号議案	令和５年度事業計画設定について
第３号議案	令和５年度手数料、利用料決定について
第４号議案	令和５年度における借入金の最高限度額決定について
第５号議案	令和５年度内における1組合員に対する貸付金の額の最高限度について
第６号議案	余裕金預け入れ先決定について
第７号議案	役員報酬決定について
第８号議案	定款変更について
第９号議案	森林組役員選任規程改正について
第10号議案	森林組合規約改正について
第11号議案	役員選任について
付帯決議事項	本議案の決議事項について行政庁の指示等による軽微な修正は理事会に一任する。

令和４年度事業報告

第25回令和５年度総代会開催にあたり一言挨拶を申し上げます。

３カ年に及んだコロナ禍感染予防対策も緩和されマスク着用は、本年３月13日より自主判断となり、５月８日からは感染症法上５類扱いとなり、さまざまな行動制限が解除されたことにより人数制限のない総代会を開催する運びとなりました。

一昨年のいわゆるウッドショックは林業界にとっては追い風でありました。しかしながら、長引くウクライナ情勢による諸物価の高騰・円安・政策金利の引き上げにより住宅着工率が鈍化し、木材価格が下降傾向となるなど産業界にとっては、非常に厳しい年でありました。

さて、令和４年度の重点項目の労働安全対策でありますが、現場の総括巡視・各種講習会への参加・班長会等で労働安全に対する意識の向上を図ってまいりました。その結果、年度末に休業災害「ゼロ」記録400日を超えることができました。現在もこの記録を更新中であります。

各部門の状況でありますが、販売部門で

は森林作業道17・5㎞を開設し、木材生産コストの削減に努めてまいりました。

市場価格の下降等悪条件となりましたが、森林所有者への利益還元を最優先に努めてまいりました。その結果、木材生産量は昨年を上回る8，510㎥の取扱となりました。

また、林業機械等につきましては、導入計画書に基づきハーベスタのベースマシンの更新・フェラバンチャーザウルスロボの導入をいたしました。

森林整備部門におきましては、引き続き主力事業である森林研究整備機構との分収造林契約に努めてまいりました。また伐跡地において再造林を実施し、循環型林業の構築に努め、市町より交付されます森林環境譲与税と組合独自の森づくり積立金を併用し森林所有者の負担金を「ゼロ」で実施してまいりました。

調査部門におきましては、地籍調査事業以外に市町より交付されます森林環境譲与税にて境界の明確化事業を取り入れてまいりました。一事業地は積雪等により繰越、17・13㎢の取扱となりました。

その結果、令和4年度における総事業収益は4億8千5百万円の取扱いとなり、当期剰余金445万円を計上することができました。

ひとえに、組合員の皆様方・関係各位のご指導・ご協力並びに職員の努力の結果であり、心より感謝しお礼を申し上げます。

議長お疲れ様でした

総代会議長として津和野地区総代の斎藤和巳さんを指名いたしましたところ、当日の議長を快く引き受けていただき、お陰を持ちまして全議案が可決成立いたしました。大変ありがとうございました。

永年勤続表彰

安全大会当日永年勤続の表彰式がとりおこなわれました。

対象になられた方は左記の方です。

勤続二十年

林産班　岡崎　幹夫さん

林産班　栗木　康弘さん

令和５年度の諸手数料率が次のように決定いたしました。

受託販売手数料	販売金額の5%以内	税抜
林産受託生産手数料	販売金額の10%以内	税抜
立木販売手数料	販売金額の10%以内	税抜
競争入札取扱手数料	落札金額の10%以内	税抜
林地供給手数料	供給額の5%以内	税抜
森林整備補助金取扱手数料	補助金の10%以内	税抜
森林整備地域活動支援交付金事務取扱手数料	交付金額の10%以内	税抜
受託造林手数料	事業費の20%以内	税抜
受託間伐手数料	事業費の20%以内	税抜
農林漁業資金取扱手数料	貸し付け金額の1%以内(貸付時) 貸し付け残金の1%以内(償還時)	税抜
融資事務取扱手数料	融資金額の1%以内	税抜
災害保険金取扱手数料	取扱金額の5%以内	税抜
諸証明手数料	1件1筆につき1,000円、1筆を増すごとに200円増(員外倍額)	税抜
諸調査手数料	実費徴収	税抜

令和４年度決算報告

貸借対照表

令和5年3月31日現在　　単位:千円

科目	金額	科目	金額
現金預金	92,660	支払手形	
売掛金	14,378	短期借入金	
未収金	186,188	買掛金	22,868
棚卸資産	10,075	未払金	43,950
その他流動資産	6,451	その他流動負債	12,177
		流動負債合計	78,995
流動資産合計	309,752	長期借入金	18,195
有形固定資産	148,626	農林漁業資金借入金	
無形固定資産	2,703	退職給付引当金外	35,606
外部出資金	30,802	固定負債合計	53,801
農林漁業資金貸付金		負債合計	132,796
その他の資産	142	出資金	150,818
固定資産合計	182,273	法定準備金	65,067
		積立金	133,943
		(前期繰越剰余金)	4,946
		当期未処分剰余金	9,401
		純資産合計	359,229
資産合計	492,025	負債純資産合計	492,025

損益計算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日　　単位:千円

科目	小計	合計
Ⅰ事業総損益		
1事業収益	484,970	
2事業費用	373,531	
事業総利益		111,439
Ⅱ事業損益		
1人件費	76,744	
2旅費交通費	433	
3事務費	3,412	
4業務費	2,965	
5諸税負担金	2,059	
6施設費	18,400	
7雑費	2,275	
事業管理費計		106,288
事業利益		5,151
Ⅲ経常損益		
1事業外収益	7,131	
2事業外費用	1,378	
事業外収益		5,753
経常利益		10,904
Ⅳ特別損益		
1特別利益	6,093	
2特別損失	11,581	
特別損益		△ 5,488
税引前当期利益		5,416
法人税、住民税及び事業税額		962
当期剰余金		4,454
前期繰越剰余金		4,946
当期未処分剰余金		9,400

令和4年度　剰余金処分案

単位:千円

摘要	内容	小計	合計
当期未処分剰余金			9,400
組合積立金取崩額			
1 事務所改修等積立金取崩額		18,000	
2 高性能林業機械修繕積立金取崩額		30,000	48,000
剰余金処分額			
法定準備金	当期剰余金の20%以上	900	
任意積立金			
(1)施設修繕等積立金		10,000	
(2)損失補填積立金		10,000	
(3)高津川森づくり積立金		7,000	
(4)分収造林損失積立金		1,000	
(5)高性能林業機械等取得積立金		20,000	48,900
次期繰越剰余金			8,500

令和５年度運営の基本方針

非常に厳しい経済情勢の折、平成10年の広域合併後25年目を迎えることとなりました。この波を乗り切るため、さらなる改革・改善に取り組み役職員一体で邁進してまいります。

少子高齢化による林業従事者の不足という難題は、引き続き農林大学等に公募を行うなど人材の確保に努めてまいります。

また、林業労働災害撲滅のため引き続き安全指導員制度の継続、労働安全コンサルタントと顧問契約を行い、さらなる安全に対する意識の高揚を図り、休業災害「ゼロ」記録の更新に努めます。

新総代者（敬称略）

総代定数200名　総代数199名
（匹見地区欠員　1名）
任期　令和5年4月1日～令和8年3月31日

任期満了に伴う総代改選が行われ、新しい総代が決まりました。
今後3年間よろしくお願いいたします。

益田地区 44名	佐々木　文男
	寺戸　友三朗
	渋谷　勝輔
	両見　龍助
	田原　俊平
	岩田　諭
	川上　和人
	岩藤　達司
	西山　定男
	渡邊　治平
	石川　信夫
	猪俣　良則
	寺戸　康人
	野村　浩三
	石田　榮治
	田原　敏明
	石川　信男
	三浦　庸美
	篠原　武夫
	早内　敏生
	領家　修
	尾木　朋重
	斉藤　久人
	横田　義人
	柳井　敏
	石川　勝也
	石川　雅基
	豊田　清司
	谷本　知明
	豊田　章夫
	竹田　圭介
	椋木　亮治
	西坂　剛
	大内　茂
	岡﨑　茂匡
	中島　哲男
	青木　稔
	青木　福
	豊田　政男
	大賀　勘一
	青山　静佳
	大谷　一生
	城市　昭
	大庭　求

美都地区 25名	斎藤　忠義
	酒井　兼重
	佐々田　貴志
	三浦　昇
	三浦　徹
	島川　鐵雄
	長見　茂
	河上　勇
	塩満　保
	佐々木　堅
	広兼　重継
	大谷　初男
	大谷　康幸
	加藤　高資
	河野　勝美
	永本　武憲
	草野　宝
	大石　健司
	野村　宏
	元岡　弘之
	堀野　定夫
	寺戸　茂富
	寺戸　和憲
	長尾　千代加
	青木　明
匹見地区 28名	柴　幹士
	篠岡　之雄
	山本　裕士
	石原　久
	齋藤　博保
	井上　繁
	高田　栄
	籾田　夏雄
	大谷　岳
	斎藤　弘
	大谷　邦寿
	小川　定信
	斎藤　佐登志
	森本　哲男
	斎藤　幹男
	村上　高士
	松本　隆敏
	齋藤　明
	中谷　善治
	寺戸　薫
	村上　鶴美
	村上　峰雄
	籾山　一男
	籾田　義人
	藤井　富康
	斎藤　覚志
	三好　直樹
	三浦　陽次郎

津和野地区 25名	糸賀　盛人
	大野　憲悠
	佐内　洋
	高橋　昭二
	藤井　芳男
	青木　徹
	齋藤　和巳
	日浦　重光
	村上　英喜
	佐山　覺
	斉藤　勲
	青木　登志男
	山本　剛
	石原　美津恵
	板垣　定啓
	三東　康佳
	中島　次美
	中島　正一
	野上　義男
	長嶺　常盤
	上田　義治
	宮内　久栄
	落合　健夫
	田淵　晴男
	長嶺　修二
日原地区 27名	広田　誠二
	大庭　保男
	大庭　次雄
	山根　實美
	内田　勝久
	村上　和寛
	藤井　賢一
	吉岡　満
	水津　克己
	岸田　敏男
	宮島　章夫
	内谷　英昭
	村上　俊文
	永嶺　孝一
	藤井　通有
	青木　暢大
	長野　寛
	竹内　和久
	大庭　照夫
	大庭　靖正
	山本　美代子
	水津　良則
	古川　浩
	斎藤　達雄
	竹内　寛
	村上　浩二
	山田　尋深

柿木地区 24名	川本　隆光
	田丸　久男
	田村　博敏
	村上　民男
	下瀬　久人
	三浦　靖
	田村　光夫
	齋藤　茂十男
	山口　忠良
	齋藤　芳三
	田中　哲郎
	大田　光広
	斎藤　政喜
	岩倉　孝充
	山田　哲郎
	小田　善史
	村上　登志雄
	田村　正人
	河村　隆行
	永安　恵治
	河野　慎一
	佐藤　克実
	村上　勝史
	村上　昭美
六日市地区 26名	本廣　順保
	山本　茂
	澄川　平八郎
	大庭　紀一郎
	石村　司
	樋谷　正敏
	槇田　光男
	渡邉　栄治
	木村　文昭
	久保　正友
	岡﨑　等
	尾﨑　勝典
	森崎　敬治
	中田　元
	山本　充弘
	村本　智
	三浦　俊光
	一ノ谷　信博
	井川　薫
	城市　勝臣
	渡辺　一則
	吉村　熊男
	二井屋　文生
	植田　克実
	山下　新吾
	見川　恒栄

労働災害『ゼロ』へ!! 令和5年度安全大会開催

本日休業災害「ゼロ」記録496日を迎えたことは、職員全員が、労働安全に対する意識の向上の表れと確信しております。

「慢心せず、安全の確保と、危険の回避」を常に意識し、作業にあたっていただきたい。

「あさっての健康と自己管理」というテーマのもと1時間と短い時間でしたが、松本裕二先生の講話を聴くことができました。長寿社会がどんどん進む今だからこそ、いかに健康を維持することが大切かを説かれました。生涯現役傾向がある中、**ピンピンコロリ**を目指すなら先ずは健康診断を。そして結果の数値と医師からの指摘事項にはきちんと向き合うことが大切です。身辺整理だけが終活ではありません。自分のメンテナンスも終活プランの1つです。いつやるの？　**今でしょう！！**

私たちは、現場のルール・作業手順を遵守して、常に安全意識を持ち作業を行います。
また、互いに声を掛け合い、どんな小さな危険も見逃さず、安全管理の徹底を図り、未然に災害を防止し、安全衛生水準の向上を目指します。
そして、「安全な職場環境の実現」を掲げ、「労働災害ゼロ」を目指します。

令和五年七月三日
高津川森林組合　職員代表　渡辺匡斉

虫よけ・熱中症対策用品です。参考にしていただけたらと思います。

左から　マダニ用スプレー
激冷えスプレー
ハチ・アブジェット
虫よけスプレー

伐って・使って・植えて・育てる

組合による伐採から再造林一貫型施行地

平成26年度施行（津和野町左鐙地内）

全景（ドローン撮影）

近景（ドローン撮影）

令和5年度
賃借する機械・導入トラックの紹介

令和5年度
林業公社より貸付決定の

ハーベスタ（0.45クラス）

目的　林業公社造林地の更新伐
賃借料　年486千円（5年間）

令和5年度導入

木材運搬用ヒヤブ付き 10tトラック

総事業費 28,054千円　補助金 12,090千円

令和5年度導入

林内から山土場運搬用 3tトラック

総事業費 6,211千円　補助金 2,600千円

車両の写真は同型車です

人権標語いろいろ

みなさんも、この機会に
人権のこと 考えてみませんか？

その言葉　その行動が　思いやり
考えて　言葉ひとつの　責任を
やめよう！　スマホで拡散　嫌な事
SNS　文字消しても　傷残る

ニューフェイス紹介

地籍課　村山 惟織さん

昨年6月から地籍課に勤務しています。
地籍調査では杭打ちや伐採など体力を多く使う作業や、土地に関する知識、土地所有者の方々とのコミュニケーションが大事になってきます。
まだまだ勉強不足なところはありますが、１日でも早く仕事を覚えて力になれるよう全力で頑張っていきたいと思います。

地籍課　大石 正幸さん

昨年６月から地籍課に勤務しています。
業務を行っていくうえで、災害時の土地の復元、土地取引、開発の円滑化など様々な面で地籍調査の必要性を強く感じています。
今後も地籍調査に関する知識や、杭打ち、境界の伐開を行うための体力ともに日々向上させて行けたらなと思います。また、作業中の事故等が無いよう常に安全に配慮するよう努めます。

総務課　大庭 佳代さん

昨年11月より本所総務課に勤務しています。
分からないことや覚えることがたくさんありますが
皆さん優しく教えてくださり、楽しく充実した毎日を送っています。早くお役に立てるように頑張りたいと思いますので何卒よろしくお願いいたします。

業務課 森林整備班員　大羽 秀和さん

本年3月より入組した大羽です。
鹿足支所で津和野班に所属しており森林整備に従事しております。
今までは、別の業種に勤めておりましたが、森林組合で働いてみないかと知人から勧められて入組を決めました。
まだ始めて数ヶ月ですが、この仕事にやりがいを持っていますので一生の仕事に出来たら良いと思っています。

＊組合員資格の相続手続きは300日以内に

組合員が亡くなられた時は、相続手続のお願いをしています。規程上、300日以内にお届けください。
早めの手続きをお願いいたします

＊住所、連絡先等が変わった場合はご連絡を

転居などにより住所や連絡先が変更になった場合は総務課までご連絡をお願いします。
総務課Tel　0856-25-2667